

権兵衛さんのおおさおさばきで銚子川の舟渡りを楽しむ参加者たち



風情あつて面白い

ふるさと
企画舎 熊野古道イベント好評

NPO法人ふるさと企画舎(田上至理事長)が十四日午前十時から、紀北町便ノ山で「銚子の渡しから馬越越え」江戸時代の旅人に想いを馳せる一日」と題した熊野古道イベントを行った。

熊野古道月間2007の一環で、いろいろのある古民家など歴史を感じられる馬越峠のふもとこの町を民話の英雄・種まき権兵衛さんと一緒に散策し、人々の暮らしに深く結びついていた馬越峠越え、江戸時代に使われていた熊野街道銚子川の舟渡しを体験し

て、当時の旅人に思いをはせようという企画で、研修で訪れた同町の友好都市である四條畷市の地域コーディネーター連絡会の八人をはじめ、名古屋、松阪など地元を含めて十三人が参加した。

種まき権兵衛の里を午前十時に出発した一行は、権兵衛さんにふんした田上理事長や語り部の玉津充さんの案内で、権兵衛屋敷跡、権兵衛さんの菩提寺である宝泉寺、いろいろのある大正時代に建てられた石工の棟梁宅をめぐり、川舟で銚子川を渡って、川原に仮設の

全幅一・四尺、深さ〇・四尺の川舟を造ったもので、舟渡しは便ノ山橋すぐ上流の左岸から、橋をくぐって右岸の川原まで約二百尺。午前中はあいにくの小雨模様だったが、四條畷市から参加の賣田裕美子さんは「川舟はとても気持ちよかった。水際ぎりぎりまで、川の透明度も良くて、川風を感じるのは最適で、大阪では経験できない」と話し、参加者からもっと船に乗りたかったの声も上がっていた。

「土壁のにおいがする古民家もよかった」「権兵衛屋敷跡や石工の古民家、川舟、馬越峠のルートはとてもしっかり」「日常では体験できないさまざまな体験をさせていただき、盛りだくさんでよかった」「江戸時代の古銭を使って舟渡し料金や弁当代を払う遊び心の演出が面白かった」「馬越越えで昔の人の生活に触れた気がする」「自然に親しめてよかった」などの感想が寄せられたほか、薬草弁当を利用した里のイベントを望む声もあり、特に都会で生活する人たちにとっては、何もかもが新鮮のようで、スタッフらの対応を含めて満足していた。

このほか、参加者から「土壁のにおいがする古民家もよかった」「権兵衛屋敷跡や石工の古民家、川舟、馬越峠のルートはとてもしっかり」「日常では体験できないさまざまな体験をさ

このイベントは来月十一日にも予定しており、参加費は大人三千円、子ども二千五百円。定員十五人(要予約)で、問い合わせはキヤンピン海山内、ふるさと企画舎(0597-331007)まで。

茶屋で、竹の皮で包んだおにぎりとアマゴ甘露煮に舌鼓。さらに、権兵衛さんの見送りを受けて、発掘石畳から馬越峠を尾鷲へ向かい、迎えの車で権兵衛の里に戻るコースを五時間半かけてゆっくり散策した。

このうち、銚子川の舟渡しは、権兵衛さんをキーワードとした昔暮らし体験事業に取り組んでいるふるさと企画舎が、かつて便ノ山で行われていた熊野街道の舟渡しを再現しようと、今年度日本財団から五十万円の助成を受けて樹齢百年の熊野スギで全長四・五尺、